

令和4年8月教育委員会定例会会議録

1 開会及び閉会に関する事項

- (1) 開催日時 令和4年8月26日(金)午後3時05分
- (2) 場 所 松田町役場1階 1B会議室
- (3) 開会時間 午後3時05分
- (4) 閉会時間 午後6時00分

2 出席及び欠席委員の氏名

- (1) 出席委員 浄泉和幸教育長、石川純一教育長職務代理者、宮田恭子委員、橋本整和委員、山岸香穂里委員
- (2) 欠席委員 なし

3 傍聴人

なし

4 委員及び傍聴人を除き会議場に出席した者の氏名

遠藤洋一課長、堀谷恵子課長補佐、加藤久美子学校教育係長、小野敏紀施設管理係長、土屋盾二指導主事

5 会議録の確認

(1) 7月教育委員会定例会会議録の承認

浄泉教育長： 会議録を承認することよろしいか。

委 員： 全員了承

6 教育長の報告事項の要旨

浄泉教育長：「教育長の行政報告」の資料に基づき説明

遠藤課長：「教育委員会予定表」の資料に基づき説明

7 議題及び議事の要旨

なし

8 その他事項

(1) 松田小学校校舎建設事業について

遠藤課長： 旧校舎の解体はほぼ完了した。これからグラウンド整備工事を開始する。その他の工事として太陽光発電設備設置工事がある。事業費が5,000万円以上の工事であるため、これから議会に議案を提出する準備を進めている。太陽光パネルの規模は約50kW、蓄電池は約20kWhであり、脱炭素化ということで環境に配慮している。

浄泉教育長： 特に意見がなければ、その他事項(1)については、よろしいか。

委 員： 全員了承

(2) 学校等教育施設現地視察について

加藤係長： 本日は来年度の予算要望を兼ねた視察となっている。

この視察の中で、学校・幼稚園・適応指導教室より要望が出されたが、何かご意見があれば次回の教育委員会定例会の中で伺いたい。

遠藤課長： 寄小学校より、屋内運動場の湿気対策についての要望があったかと思

うが、まずは2階アリーナの換気扇の清掃と、1階の器具庫の扉に換気扇を取り付け、対策を講じる予定である。その予算については、9月議会に提出する補正予算に計上している。

浄泉教育長： 特に意見がなければ、その他事項(2)については、よろしいか。

委員： 全員了承

(3) 令和3年度決算審査の結果について

加藤係長：「令和3年度決算審査の結果について」の資料に基づき説明

7月に令和3年度分の決算審査を受けた。

教育課に関しては、2点の指摘事項があった。

1点目は、酒匂川健康ふれあい広場の今後の利用について、2点目は、ICT教育の効果と検証についてであった。

石川教育長職務代理者： 資料の○、●にはどのような意味があるのか。

加藤係長： ○が代表監査委員から、●が議会選出の監査委員からの指摘事項である。

浄泉教育長： 他に意見がなければ、その他事項(3)については、よろしいか。

委員： 全員了承

(4) 寄地区の幼稚園・学校教育について

堀谷課長補佐：「寄地区の幼稚園・学校教育について」の資料に基づき説明

第2回検討委員会は書面開催となったため、意見書をご提出いただき、集約したものがA3の資料である。取扱注意でお願いしたい。

懇談会が1回では足りない、提言書を1回の委員会でまとめるのは難しいなどの意見があった。また、アンケートについては、反映できる意見は極力反映している。

大人向けアンケートの変更点は、結果をホームページで公表するという文言の追加、「寄における」居住年数の追加、お子様の学年の問いに「ご家庭に」という文言の追加、学年の削除、松田版SDGsの注釈追加、幼・小・中の統合についての設問形式である。自校給食についての設問は、配食給食が良くないと捉えられるという意見があったが、変更せずそのままにした。また、統合の設問についても、統合を誘導しているという意見があったがそのまま残した。

子ども向けアンケートについては、設備の説明を追加、「快適」「充実」などの言葉を分かりやすい表現に変更、タブレットの後に「端末」を追加、以上の点を変更した。幼稚園についての設問は、小学生には不要ではないか、という意見があったがそのまま残した。

地域懇談会の実施方法については、グループ討議は不向き、グループ討議にするのであれば事務局職員が進行すべき、町長との町政懇話会ではグループ討議は不評であった、説明が20分では足りない、テーマを「小規模校のメリットを生かす策、デメリットの解消策」にすると良い、などの意見があった。

なお、地域懇談会については、チラシで周知する。

アンケートの回収方法は、役場や出張所に回収箱を設置する予定であったが、料金受取人払いの封筒を作成し、郵送で回収する方法を検討している。

また、回答については、1世帯1回答を考えている。

浄泉教育長： スケジュールの通りであるが、コロナの影響で延びてしまう可能性もある。状況を見ながら変更していく。

アンケート結果は寄地区のみでなく、ホームページに掲載で良いのか。

橋本委員： ホームページに結果を掲載するという背景は何か。

堀谷課長補佐： 当初のスケジュールの中に、「結果をホームページへ掲載」と記載があったため、委員から指摘があった。

浄泉教育長： 必要性があるかを判断し、不要であればスケジュールから削除すべきである。

山岸委員： 公表するのであれば、とのご意見なので削除して良い。アンケートについて、全町民が承知しているわけではないので、ホームページへの掲載は不要である。

石川教育長職務代理者： アンケートのねらいは、結果を町民へ知らせるためではない。「寄地区の幼稚園・学校教育について」の検討委員会での資料にするためのアンケートである。

浄泉教育長： 公表はホームページではなく、地域懇談会でお知らせする。懇談会へ足を運んでくれるかもしれない。

堀谷課長補佐： スケジュール中の「ホームページで結果公表」を削除してよいか。

浄泉教育長： 削除でよい。

自校給食の設問、「安全・安心でおいしく」の文言をどうするか。

宮田委員： 松田の子ども達は自校給食しか知らない。配食給食を検討しているのであれば、この表現は必要である。

実際に松田の自校給食はおいしい。松田のこだわりだと思う。

堀谷課長補佐： 自校給食が「安全・安心でおいしく」という表現は、配食給食がそうではないように捉えられるというご意見があったが、比較しているわけではないのでそのまま残した。

宮田委員： そう思わないのであれば、その通りに回答すればよいと思う。自校給食は松田のこだわりだと思うので、そのまま残した方がよい。

橋本委員： 設問の意図は、自校給食を継続するでよいか、というものなので、そのままよいのではないか。

宮田委員： 自校給食は大事だと思う。栄養や効率だけではない。出来立ての温かいものが提供されるのと、温めたものが提供されるのとでは、精神的にも違ってくる。

浄泉教育長： この設問はこのまま残す。

統合の設問についてはどうか。

石川教育長職務代理者： 統合の設問以前の形式と異なるため、リード文を追加してはどうか。例えば「次の①～③から当てはまるものをお選びください」等を入れ

る。

山岸委員： 1ページ目の中央部、【回答項目】の部分は不要ではないか。

浄泉教育長： 問題なければ削除する。

中学校統合についての設問、「統合しないほうがよかった」という回答を追加でよいか。

子ども向けアンケートの、設備の説明は必要か。

石川教育長職務代理者： 例が記載されていた方が分かりやすいので、必要だと思う。

表現はこのままでよい。

浄泉教育長： 「快適で居心地が良い」という表現はどうか。

堀谷課長補佐： 「快適」を「過ごしやすい」に変更する。

浄泉教育長： 「充実」という言葉はどうか。小学生には難しいのではないか。

山岸委員： 小学生にも理解できると思う。

似た内容の設問が続くので、1つ削除してもよいのではないか。

遠藤課長： 前回アンケートでも「充実」という言葉を使用しているので、そのままでもよい。

宮田委員： 子ども向けには、「統合しないほうがよかった」という文言を入れなくてよいのか。

浄泉教育長： 「統合してよかった」の設問の、「そう思わない」という回答で判断できる。

懇談会の方法についてであるが、説明が20分では足りないという意見についてはどうか。

遠藤課長： アンケートの結果報告もあるので、30分ほど必要である。

浄泉教育長： 方法はグループ討議でよいか。

石川教育長職務代理者： 町政懇話会とは内容が異なるので、グループ討議のままでよい。

橋本委員： 多くの意見を拾い上げたいので、グループ討議のままでよい。

浄泉教育長： 時間配分についてはどうか。

宮田委員： 参加者によりグループ数が変わる。グループ数により発表の時間も変わってくる。

山岸委員： どの位のグループ数を想定しているのか。予定している時間に合わせて、グループ数を設定する。

宮田委員： グループ討議で、個々の意見を引き出せるようにしたい。

浄泉教育長： 各グループの進行役を、教育委員、教育委員会職員で担当するようお願いしたい。

宮田委員： 進行役と記録係を教育委員と事務局で担当することは、意見を提供するのではなく、引き出す立場として相応しい。

山岸委員： 子ども達の参加も想定しているか。

浄泉教育長： 子ども達の積極的な参加を促す。

テーマについてはいかがか。「小規模校のメリットを生かす策、デメリットの解消策」を追加するか。

宮田委員： 具体的なテーマの方が意見が出やすいので、追加した方がよい。漠然

としたテーマでは分かりにくい。

浄泉教育長： テーマ①「寄地区の幼稚園・学校教育について考えること」の補足として付け加えるのはどうか。

橋本委員： テーマは「寄地区の幼稚園・学校教育について」の1つでよいのではないか。

浄泉教育長： 「寄地区の幼稚園・学校教育について」を大きなテーマとし、その下に「小規模校のメリットを生かす策、デメリットの解消策」等の小テーマを付け加える。

山岸委員： 小テーマに「地域として私たちができること」を追加してはどうか。

堀谷課長補佐： 寄振興協会会長は構成員の一人に過ぎないので、あいさつは不要ではないか、というご意見があったがいかがか。

浄泉教育長： あいさつの順番を、委員長、会長、教育長の順に変更する。

堀谷課長補佐： チラシ、アンケートの準備数はどうするか。

浄泉教育長： 寄地区の全戸配付とする。

チラシに対象者を追加する。参加対象者は、寄地区在住のどなたでも可とする。

小野係長： 寄在住の方（小学生以下の方は保護者の付き添いをお願いします）という表記にしてはどうか。

浄泉教育長： 内容については、グループ討議の実施方法で追加した小テーマを、チラシにも追加する。

石川教育長職務代理者： グループ討議の発表時の質疑応答は、別グループからの質問を受けるのか。

浄泉教育長： グループ間の質疑応答である。

懇談会の日時は、アンケート結果の集約の都合上、第一候補を10月29日午前中としたいがいかがか。

振興協議会会長と自治会長には、事前に予定の確認をする予定である。

遠藤課長： アンケートの回答率を出すにあたり、対象の総数を確認したい。

浄泉教育長： 一世帯一回答と明記するかどうか。

山岸委員： 一世帯の内、どなたでも回答いただけるが、回答率は世帯数を基準とするという注意書きを加える。

宮田委員： 原則、という表現にする。正確な回答率を求めることよりも、一人でも多くの方からのご意見をいただくことの方が大切である。

浄泉教育長： 回答率についての意見があったら、多くの意見を出していただくことが目的であると答える。

遠藤課長： アンケートにより多くの意見をいただくことと回答率を上げるため、web回答以外の紙媒体のアンケート回収方法を、回収箱の設置ではなく、郵送での回答を可能とするように変更した。

浄泉教育長： 他に意見がなければ、その他事項(4)については、よろしいか。

委員： 全員了承

(5) コミュニティ・スクールについて

堀谷課長補佐：「コミュニティ・スクールについて」の資料に基づき説明

令和7年度からの導入に向けたスケジュールの説明をする。

令和4年度は、コミュニティ・スクール導入推進委員会の開催に向けた準備を行う。具体的には、コミュニティ・スクール導入推進委員会の構成員を選定し、松田町コミュニティ・スクール導入推進委員会設置要綱制定を行う。また、コミュニティ・スクール導入推進委員会設置のため、令和5年度予算に計上できるように要求する。

令和5年度は、コミュニティ・スクール導入推進委員会を開催し、コミュニティ・スクール導入のパンフレットを作成するため、素案づくりや費用の見積もりなどの準備を行う。

令和6年度は、引き続きコミュニティ・スクール導入推進委員会を開催、パンフレットの作成、コミュニティ・スクールコーディネーター・学校運営協議会委員の募集・選定・決定を行う。

令和7年度は、第1回地域学校協働推進会議を開催し、学校運営協議会を設置する。

松田町コミュニティ・スクール導入推進委員会設置要綱（案）及び推進委員会委員名簿（案）をお示しする。内容については、今後、教育委員の皆様からご意見を伺いたい。

浄泉教育長： スケジュール（案）については、総合教育会議でもお示ししたコミュニティ・スクール導入推進委員会設置要綱（案）及び推進委員会委員名簿（案）について、今後、検討をお願いしたい。

浄泉教育長： 特に意見がなければ、その他事項(5)については、よろしいか。

委員： 全員了承

(6) 令和4年8月1日現在の児童・生徒・園児数等について

加藤係長：「令和4年8月1日現在の児童・生徒・園児数等について」の資料に基づき説明

7月中に、松田幼稚園の年中児が1名転出したことにより、園児数が1名減となっている。他の学校、幼稚園の児童数・生徒数・園児数に変更はない。

浄泉教育長： 意見がなければ、その他事項(6)については、確認を行ったということでもよろしいか。

委員： 全員了承

9 議事となった発議、討論等の内容及び発議者の氏名 なし

10 議決事項

なし

11 その他委員又は会議において必要と認めた事項

(1) 今回の会議録署名人の指名

宮田委員、橋本委員

(2) 今後の会議の予定

定例会 令和4年9月27日（火）午後1時30分 松田町役場4階4A会議室

令和4年9月27日

会議録署名人

委員 宮田 恭子

委員 橋本 整和

会議録調整事務局職員

教育課学校教育係長 加藤 美子